第２学年　道徳科学習指導案

１　主題名　　きまりを守る　　　【　C－10　遵法精神、公徳心　】

２　教材名　　試合からの帰り道　　出典「明るい人生２」

３　本時の指導

（１）目　　標

主人公の明美の心情の変化を考察する活動を通して、きまりの意義を理解し、集団におけるきま

りや規律を大切にしようとする態度を高める。

（２）準備・資料

・　教師：ワークシート、プロジェクター

（３）指導過程

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 段階時間 | 学習活動　　主な発問・予想される生徒の反応 | ・留意点　（支）支援　　◎言語活動 |
| 方向づけ5分 | １　朝寝坊をして遅刻しそうなときに「赤信号」でどうするか考える。　・　信号無視はいけないことだから、どんなことがあっても渡らない。　・　今日だけは仕方がないと思って渡る。きまりを破りそうなときに、何を考えればいいのだろう。 | ・　ねらいとする価値の関連事項を日常生活の経験から想起させる。・　「どうしても遅刻できない入試のとき」や「誰も見ていないとき」など生徒がきまりを破りそうになる条件を追加する。 |
| ねらいとする価値の追求・把握35分 | ２　範読を聞き、明美のきまりに対する捉え方を確認する。（個人→一斉）３　バレー部にきまりがある理由を考える。　　　　　　　　（個人→一斉）○　バレー部にはなぜきまりがあるのでしょうか。その理由を書いてみましょう。　・　集団で行動するためにはきまりが必要だから。　・　きまりを作ることで秩序やまとまり　　をつくるため。４　明美がきまりを破らずに済んだ理由を話し合う。(1) 自分の立場に置き換えて考える。（個人→一斉）○　きまりを守ることがばかばかしいと思い始め、アイスクリームを食べようか迷う明美。明美のことをどう思いますか。また、そう考えた理由を書いてみましょう。［共感度］　 　　　　0　　　　　　　　　　100％(2) 弟に会ったことによって、明美が何を感じたのかを考える。○　明美は弟にどんな気持ちで「ごめん、ありがとう」と言ったのでしょう。　(3) ４人グループで話し合う。(4) 学級全体で話し合う。［ごめん］と言った気持ち・　きまりを破って「買い食いしよう」と誘ってしまってごめん。　・　自分のことばを大切にしてくれていた弟のことを裏切ってしまいそうになってごめん。　［ありがとう］と言った気持ち　・　きまりを破りそうになったところを止めてくれてありがとう。　・　自分がきまりを守ってきた理由を思い出させてくれてありがとう。６　きまりを破りそうなときに、何を考えればいいのかを考える。（個人→一斉）○　きまりを破りそうなときに、何を考えればいいのだろう。・　きまりを破った後にどのようなことが起きるのかを考える。・　自分が嫌な思いをするかもしれないという気持ちをもつ。 | ・　主人公の明美の葛藤する気持ちに共感できるようにするために、十分な時間を確保する。・　「きまりを守ること」、「きまりを破ること」を考える前に、なぜきまりがあるのかということを考えることを通して、きまりの必要性を捉えさせる。・　きまりがあったからよかったことや助かったことを思い出して考えてみるように伝える。・　「きまりを守ることをばかばかしい、破っても構わない」という心情であることを意識させて、考えさせる。・　思考の数直線（0％・20％・40％・60％80％・100％のうちから選択）を用いて、自分の立場を明らかにした上で、なぜその考え（立場）にしたのか、その理由も書くように助言する。・　机間指導をしながら、書き終わった生徒には黒板に名札カードを貼付するように声をかける。・　全員が名札カードを貼付したら、指名した生徒に理由を聞きながら発表させる。・　明美が弟に「ごめん」と言った気持ちと「ありがとう」と言った気持ちをそれぞれ考えさせる。・　日頃の明美と弟の関係を踏まえて考えさせる。◎　級友の考えに対して疑問に思ったことは、積極的に聞くように助言する。・　自分とは異なる考えであっても否定せず、肯定的に受け入れさせる。・　グループの意見をまとめさせない。（支）自分の意見がもてない生徒には級友の意見を聞いて共感した考えを自分の考えにしてよいことを伝える。◎　きまりを守ることの本質が考えられるようにするために、できるだけ多くの生徒に発表させる。・　「ごめん」と「ありがとう」と同時に言った明美の心情の変化と弟に会う前後でのきまりに対する捉え方が変わっていることを確認する。・　きまりを破ると自分にとって不都合なことが多々起こることを想起させ、きまりを守ることは、自分のことを守ることにつながることに気づかせる。・　導入でもたせた課題に対する、自分の考えをまとめさせる。・　これからの日常生活の中で、きまりを破りそうになったときには、きまりを破ると、自分にどのようなことが起こるのか、どのような気持ちになるのかをイメージすることが必要であることを伝える。 |
| 終末5分 | ７　本時の感想をまとめる。 | ・　級友の考えから学んだことやこれからの生活に生かしていきたいことなど、授業を振り返って書くように助言する。 |

（４）評価

　　　　明美の心情・きまりに対する考え方の変化やクラスの話し合いを通して多様な考え方に触れ、

どのように行動することがきまりや規律を大切にすることになるのか考えることができたか。